



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社  
 コード番号 5481 URL <http://www.sanyo-steel.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 樋口 眞哉  
 (氏名) 菅野 申一  
 配当支払開始予定日

TEL 079-235-6004  
 平成28年11月30日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	66,735	△15.4	5,208	△16.0	4,757	△23.2	3,146	△20.2
28年3月期第2四半期	78,857	△6.8	6,201	90.1	6,193	89.4	3,940	55.2

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 1,451百万円 (△36.8%) 28年3月期第2四半期 2,295百万円 (△18.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	19.52	—
28年3月期第2四半期	24.44	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	175,370	113,618	64.4
28年3月期	179,898	113,140	62.4

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 112,878百万円 28年3月期 112,307百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
29年3月期	—	5.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	140,000	△6.1	12,000	△1.5	11,500	△0.3	7,600	2.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	167,124,036 株	28年3月期	167,124,036 株
29年3月期2Q	5,936,267 株	28年3月期	5,922,766 株
29年3月期2Q	161,197,486 株	28年3月期2Q	161,241,428 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。(業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。)

## 【添付資料】

## (目次)

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
参考資料	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期(平成28年4月1日～平成28年9月30日)におけるわが国経済は、円高の進行などにより、企業の業況判断については慎重さがみられるものの、雇用・所得環境の改善が続くなど、総じて緩やかな回復基調で推移しました。一方、景気の先行きにつきましては、中国をはじめとする新興国経済の減速懸念や英国のEU離脱問題など、海外経済の不確実性の高まりなどから不透明な状況にあります。

特殊鋼業界におきましては、主要な向け先である自動車業界、産業機械業界における在庫調整は完了したとみられるものの、鋼板・鋼帯を除く特殊鋼熱間圧延鋼材の生産量は、前年同期に比べてやや低い水準で推移しました。

このような中、当社グループの当第2四半期の売上高は、鉄スクラップサーチャージ制度の適用に伴う販売価格の低下や販売数量の減少、販売構成の変化などにより、前年同期比121億22百万円減の667億35百万円となりました。利益面では、原燃料価格の低下や、コストダウンの実施等の好転要素もありましたが、鉄スクラップサーチャージ制度適用による販売価格の変化までのタイムラグ、円高の進行に伴うドル建て売上に係る円手取り額の減少等の影響、株安による退職給付費用の増加、連結子会社の利益減、外貨建資産等に対する為替差損の計上などにより、経常利益は前年同期比14億35百万円減の47億57百万円となり、ROS(売上高経常利益率)は7.1%(前年同期は7.9%)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比7億94百万円減の31億46百万円となりました。

セグメント別の売上高および営業損益の状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

#### 鋼材事業

当第2四半期の売上高は、鉄スクラップサーチャージ制度の適用に伴う販売価格の低下や販売数量の減少、販売構成の変化などにより、前年同期比97億81百万円減の605億67百万円となりました。営業利益は、鉄スクラップサーチャージのタイムラグや販売構成の変化、円高の進行に伴う影響、固定費の増加などはありませんでしたが、原燃料価格の低下やコストダウンの実施などにより、前年同期比3億46百万円増の46億55百万円となりました。

#### 特殊材事業

当第2四半期は、電子部品分野の需要低迷やプラント需要の低迷などによる販売数量の減少や円高の進行に伴う影響などにより、売上高は前年同期比12億53百万円減の27億48百万円、営業利益は前年同期比5億4百万円減の3億34百万円となりました。

#### 素形材事業

当第2四半期の売上高は、鉄スクラップサーチャージ制度の適用に伴う販売価格の低下や販売数量の減少などにより、前年同期比16億39百万円減の70億38百万円となりました。営業利益は、鉄スクラップサーチャージのタイムラグや中国子会社における為替変動影響、賃金アップによる人件費の増加に加え、タイ・メキシコ子会社における立上げ費用等の一過性コストの増加などにより、前年同期比5億21百万円減の2億23百万円となりました。

**その他**

子会社を通じて情報処理サービス等を行っており、当第2四半期の売上高は前年同期比48百万円減の7億62百万円、営業利益は前年同期比2百万円増の18百万円となりました。

**(2) 財政状態に関する説明**

当第2四半期末の総資産残高は、受取手形及び売掛金、たな卸資産の減少などにより、前期末比45億28百万円減の1,753億70百万円となりました。

負債残高は、借入金や未払金の減少などにより、前期末比50億5百万円減の617億52百万円となりました。

純資産残高は、為替換算調整勘定の減少などによりその他の包括利益累計額は減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加などにより、前期末比4億77百万円増の1,136億18百万円となりました。

この結果、当第2四半期末におけるD/Eレシオ（純資産残高に対する有利子負債残高（現預金残高控除後）の割合）は0.12（前期末は0.13）となりました。

当第2四半期のキャッシュ・フローは、営業活動では83億53百万円の収入（前年同期比11億97百万円の収入減）、投資活動では63億87百万円の支出（前年同期比28億67百万円の支出増）、財務活動では24億29百万円の支出（前年同期比33億92百万円の支出減）となりました。

この結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、193億71百万円（前期末比12億56百万円減）となりました。

**(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

今後につきましては、わが国の景気が緩やかな回復を続けていくことが期待される一方で、新興国経済の減速や円高の進行、原燃料価格の上昇、英国のEU離脱影響などに対する懸念、特殊鋼業界における国際競争の激化などもあり、当社グループをとりまく事業環境は、引き続き楽観を許さない状況で推移するとみられます。

こうした中、当社グループといたしましては、非価格競争力の強化に向けた取り組みに一層注力いたしますとともに、需要動向に即した生産の実施やコストダウンの徹底など内部努力を重ね、需要家ニーズに的確に対応した高品質の特殊鋼を安定的かつグローバルに供給できる事業体制の構築へ向けてグループの総力を挙げて取り組んでまいります。

なお、当社は、当第2四半期の実績および現時点での想定を踏まえ、平成28年7月28日の第1四半期決算発表時に開示した業績予想を次のとおり修正することといたしました。

## ①当期の連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	142,000	12,400	12,300	8,200	50.87
今回修正予想（B）	140,000	12,000	11,500	7,600	47.15
増減額（B－A）	△2,000	△400	△800	△600	
増減率（％）	△1.4%	△3.2%	△6.5%	△7.3%	
（参考）前期連結実績 （平成28年3月期）	149,148	12,188	11,540	7,416	46.00

## ②修正の理由

前回の想定に対し、下期の販売数量は増加する見込みですが、鉄スクラップ価格の上昇や特殊材事業および素形材事業において損益の悪化が見込まれること、当第2四半期に計上した外貨建資産等に対する為替差損が、足下の為替の状況からみて通期でもそのまま現出するとみられることなどから業績予想を修正いたしました。

また、当社は、平成28年10月27日開催の取締役会において、平成28年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を1株当たり5円実施することを決議するとともに、これまで未定としておりました平成29年3月期の期末配当については、1株当たり7円（中間配当とあわせて、年間12円）とする予想といたしました。

（注）業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,179	20,896
受取手形及び売掛金	40,531	38,315
電子記録債権	3,196	3,459
商品及び製品	8,590	7,992
仕掛品	17,532	16,397
原材料及び貯蔵品	11,506	11,572
その他	2,608	3,115
貸倒引当金	△10	△8
流動資産合計	106,134	101,739
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	36,151	35,443
その他(純額)	24,034	24,687
有形固定資産合計	60,186	60,130
無形固定資産	1,178	1,274
投資その他の資産	12,399	12,225
固定資産合計	73,764	73,630
資産合計	179,898	175,370
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,712	11,004
短期借入金	28,708	27,228
未払法人税等	2,205	1,621
賞与引当金	2,118	2,126
役員賞与引当金	114	59
その他	12,500	10,329
流動負債合計	57,359	52,369
固定負債		
長期借入金	7,789	7,789
役員退職慰労引当金	52	51
債務保証損失引当金	—	0
退職給付に係る負債	591	613
その他	965	928
固定負債合計	9,398	9,383
負債合計	66,758	61,752



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,182	20,182
資本剰余金	22,597	22,597
利益剰余金	69,491	71,670
自己株式	△1,841	△1,848
株主資本合計	110,430	112,602
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,677	1,654
繰延ヘッジ損益	2	△58
為替換算調整勘定	1,491	△231
退職給付に係る調整累計額	△1,294	△1,088
その他の包括利益累計額合計	1,877	275
非支配株主持分	832	740
純資産合計	113,140	113,618
負債純資産合計	179,898	175,370

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	78,857	66,735
売上原価	66,324	54,649
売上総利益	12,533	12,085
販売費及び一般管理費	6,332	6,877
営業利益	6,201	5,208
営業外収益		
受取利息	23	20
受取配当金	103	96
補助金収入	316	101
その他	92	136
営業外収益合計	535	354
営業外費用		
支払利息	194	128
為替差損	31	537
持分法による投資損失	252	89
その他	64	49
営業外費用合計	544	805
経常利益	6,193	4,757
特別利益		
土地売却益	0	3
特別利益合計	0	3
特別損失		
固定資産除売却損	188	149
特別損失合計	188	149
税金等調整前四半期純利益	6,005	4,611
法人税、住民税及び事業税	1,873	1,458
法人税等調整額	164	0
法人税等合計	2,038	1,458
四半期純利益	3,966	3,152
非支配株主に帰属する四半期純利益	26	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,940	3,146

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	3,966	3,152
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,763	△23
繰延ヘッジ損益	—	△61
為替換算調整勘定	108	△1,446
退職給付に係る調整額	△62	205
持分法適用会社に対する持分相当額	45	△374
その他の包括利益合計	△1,671	△1,700
四半期包括利益	2,295	1,451
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,259	1,544
非支配株主に係る四半期包括利益	36	△92

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,005	4,611
減価償却費	4,502	4,368
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△77	7
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△39	△55
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	33	24
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△269	△56
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2	△0
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	—	0
受取利息及び受取配当金	△126	△116
支払利息	194	128
持分法による投資損益 (△は益)	252	89
固定資産除売却損益 (△は益)	188	146
売上債権の増減額 (△は増加)	3,134	1,792
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5,079	1,271
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,935	△740
その他	△1,352	△1,143
小計	12,588	10,327
利息及び配当金の受取額	113	109
利息の支払額	△203	△134
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,947	△1,947
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,551	8,353
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,432	△5,961
有形固定資産の売却による収入	18	29
無形固定資産の取得による支出	△185	△203
投資有価証券の取得による支出	△193	△0
長期貸付金の回収による収入	2	0
3ヵ月超預金の純増減額 (△は増加)	△618	△176
その他	△111	△75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,520	△6,387
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,865	4
長期借入金の返済による支出	△1,815	△1,462
自己株式の取得による支出	△17	△6
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△1,124	△964
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,822	△2,429
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	△793
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	248	△1,256
現金及び現金同等物の期首残高	19,326	20,628
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,575	19,371

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	鋼材	特殊材	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	66,120	4,002	8,677	78,800	57	78,857	—	78,857
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,228	—	—	4,228	754	4,982	△4,982	—
計	70,349	4,002	8,677	83,029	811	83,840	△4,982	78,857
セグメント利益	4,309	839	745	5,894	16	5,910	291	6,201

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。  
 2. セグメント利益の調整額291百万円は、棚卸資産の調整額268百万円およびセグメント間取引消去23百万円であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	鋼材	特殊材	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	56,910	2,748	7,038	66,697	37	66,735	—	66,735
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,657	—	—	3,657	725	4,382	△4,382	—
計	60,567	2,748	7,038	70,354	762	71,117	△4,382	66,735
セグメント利益	4,655	334	223	5,214	18	5,232	△24	5,208

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。  
 2. セグメント利益の調整額△24百万円は、棚卸資産の調整額△26百万円およびセグメント間取引消去2百万円であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 参考資料

## 平成29年3月期 第2四半期決算発表

## 1. 当第2四半期の業績と通期の予想

(単位：千t、百万円、%)

	当第2四半期	前第2四半期	増減	増減率	通期	前期	増減	増減率
	(実績)	(実績)			(予想)	(実績)		
売上数量	493	499	△6	△1.2	1,002	988	14	1.4
売上高	66,735	78,857	△12,122	△15.4	140,000	149,148	△9,148	△6.1
営業利益	5,208	6,201	△993	△16.0	12,000	12,188	△188	△1.5
経常利益	4,757	6,193	△1,435	△23.2	11,500	11,540	△40	△0.3
(ROS)	(7.1)	(7.9)	(△0.8)		(8.2)	(7.7)	(0.5)	
親会社株主に帰属する当期純利益	3,146	3,940	△794	△20.2	7,600	7,416	183	2.5
設備投資	4,968	4,147	821	19.8	10,000	9,908	91	0.9
減価償却費	4,368	4,502	△133	△3.0	9,000	9,343	△343	△3.7

(参考) 四半期業績推移

(単位：千t、百万円、%)

	平成28年3月期					平成29年3月期	
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期	4-6月期	7-9月期
売上数量	260	238	242	248	988	249	244
売上高	40,840	38,016	35,595	34,695	149,148	33,920	32,814
営業利益	3,297	2,904	3,452	2,533	12,188	2,500	2,708
経常利益	3,435	2,757	3,401	1,945	11,540	2,113	2,644
(ROS)	(8.4)	(7.3)	(9.6)	(5.6)	(7.7)	(6.2)	(8.1)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,273	1,667	2,258	1,217	7,416	1,619	1,526

## 2. 当第2四半期の経常利益増減要因 (対前年同期)

(単位：億円)

増 益 要 因		減 益 要 因	
1. 原燃料価格	71	1. 販売価格・構成	73
2. 変動費のコストダウン	13	2. 為替変動 (営業損益)	8
		3. 固定費の増加	6
		4. 連結子会社の利益減	5
		5. 営業外損益	4
		6. 販売数量	2
計 (A)	84	計 (B)	98
		差引 (A) - (B)	△14